

## IX 特色ある公民館活動

### 『うきは市大石公民館の1年間の活動報告～半世紀の歩み』

うきは市立大石公民館 館長 矢野 紀男

#### ① 地域の概要

**うきは市の概要**・・・人口は 32,461 人で、世帯数が 10,610 世帯です。〔H22.12 現在〕

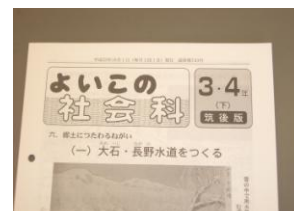
校区公民館数 11 館を要し、平成 17 年に旧浮羽町と旧吉井町の合併により設立された小柄ですが若い魅力溢れる市です。

福岡県の南部を流れる筑後川の最東に位置し、トンネルを抜けるとそこは天領日田になります。フルーツの里、白壁造りの町並み、棚田、筑後川温泉、道の駅等 PR したいところがいっぱいあります。



**大石の概要**・・・人口は 2,832 人 世帯数 979 世帯のこれまた小さな校区です。〔H22.12 現在〕

昨年、作家 帚木蓬生氏の「水神」が出版され、当校区内にあります大石堰がとみに脚光を浴びることになりました。又、この堰の建設を推進した五人の庄屋による偉業を称える冊子が福岡市の小学校の副読本にも採用され、福岡市内からの小学生の見学用の大型バスが後をたちません。



**公民館の概要**・・・戦後間もなく大石校区民の浄財により、土地・建物を購入、設立されたと聞いております。

公民館の組織は館長のもと、いわゆる公民館活動を主催する「公民館運営委員会」、ふれあい活動を主催する「ふれあいセンター大石運営委員会」、子育て支援活動を主催する「大石校区の子育てと教育を進める集い実行委員会」があります。



#### ② 事業の内容

年間を通しての活動の主なものを、以下のとおり紹介いたします。

##### (5月) 老人クラブ グランドゴルフ大会

10年ほど前から開催しており、毎回 100 名程度の参加者がグランドゴルフを楽しんでいます。



##### (7月) 子供会ソフトボール大会

今年で第 48 回大会となります。毎年小学校グラウンドを利用し

て、ナイターで行っている大会です。以前は3日間で行っていたのですが、最近は児童数の減少で、今年度は9チーム編成し、2日の大会となりました。

### **(8月) 弓立神社万年願奉納相撲大会**

当神社の神主曰く、江戸時代の末期から続いている大会のようです。大石小学校の男子児童が全員参加します。

公民館は後援を行っています。



### **(9月) さよなら「昭和橋」記念行事 \*平成22年度のみ**

筑後川を挟んで対岸となる朝倉市杷木コミュニティーセンター協議会と、共催にて開催しました。新橋の建設により昭和4年に建造された橋が、老朽化のため取り壊されたことに伴う旧橋のお別れ会です。

### **(10月) 分館対抗グランドゴルフ大会**

20年ほど前から開催しています。18分館から1チーム6名で選手を編成し、計108名による催しです。土曜日の夜にナイターで行っています。



### **(10月) 老人クラブ パークゴルフ大会**

今年度で2回目の大会です。6クラブ、各12名、計72名の参加がありました。

因みに、パークゴルフ場は、筑後川温泉南側の放水路内にオープンしました。通常のゴルフと同じ18ホールですが、パー66となっています。プレー代は一人200円です。



### **(11月) 福祉まつり、といもっ祭**



「福祉まつり」は、ふれあい活動のメイン行事です。お年寄りから子供まで全校区民が参加して、福祉に関するいろんな催しを行います。「といもっ祭」は、大石小学校の児童が春先に植えたといもの収穫祭です。保護者といも



饅頭などを作り、いも料理の試食会を行います。

### **(1月) 駅伝大会、凧あげ大会**

今年で駅伝大会は第23回を迎えました。その後に行われる凧あげ大会は、今年で55回を迎えました。因みに、駅伝大会の正式名称は、





「とび梅国体記念大石堰駅伝大会」です。これは平成2年に福岡県主催でとび梅国体があり、そのカヌー競技がこの大石堰下流で行われたことから、これを記念してこの駅伝大会を開催することになりました。



### (2月) 男性料理教室

いつ頃からの始まったのかは不明です。毎回30名程度の男性が参加します。料理を作って、後片付けまで自分でやりますが、日頃の奥さんの大変さが少し理解できたようです。

### (3月) 菜の花ウォーキング大会

10年ほど前から開催しています。毎回100名程度親子連れなどで参加があります。筑後川沿いを菜の花を見ながら、仲間と歩くこの催しは、改めて大石地区の素晴らしさを実感するところです。



## ③ 事業の成果

少子高齢化に伴い、ややもすると引きこもりがちになる高齢者と、テレビ・ゲーム等の屋内遊戯が多くなりがちな子供たち双方に、少しでもふれあいの場を提供できているのではないかと考えています。



## ④ 今後の課題(及び取組み)

まず、現在の諸活動は継続することにより、結果的に伝統を守ることにつながると信じています。

今後益々顕著になるであろう少子高齢化に対処するため、

地域の諸階層の方々と話し合い、協力しながら気軽に参加できるようなイベント等を企画し、これからも大石公民館を中心に大いに地域を盛り上げていきたいと考えています。

